

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【理 科】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 単元の目標を達成するために、問題解決の「調べる」段階で「のぼそう！理科の力」を設定し、各学年で重点的に育成する問題解決の力を確実に育成することができるように工夫されている。また、「広げる」段階で「広げよう！理科の発想」を設定し、学習内容を活用した考察ができるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、単元導入において、対話的な学びを促す問いかけがあり、事物・現象の比較を通して、他者とかかわりながら考えを深め、問題意識を高めるような場面設定の工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために「観察」及び「実験」では、拡大した写真や絵、図が提示されており、細部や動植物のつくりが明確で分かりやすく、児童が主体的に問題解決に取り組みながら、観察や実験ができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 自然の事象・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、単元導入と単元末で同じ問いについて考える「学ぶ前に」、「学んだ後に」があり、児童が成長を実感し自己肯定感を高め理科学習を楽しめるような工夫が見られる。</p>	<p>5年p82</p> <p>5年p85</p> <p>5年p22, 23</p> <p>5年p44, 45</p> <p>5年p94</p> <p>5年p112</p>

<p>4 大日本図書</p>	<p>(1) 単元の目標を達成するために、「算数科とつなげよう」などを設定し、他教科等で学んだことも生かして学習の理解が深まるように工夫されている。また、単元末で「りかのたまてばこ」、「防災」を設け、学んだことを環境保全やキャリア教育、防災教育などと結び付けて学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、問題設定の場面における「ココに注目」では、事物・現象をとらえる視点が示してあり、その視点を基に他者との対話を通して問題を焦点化するような設定の工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために、単元の導入は見開きで構成し、学習問題を見いだすページを設け、生活経験を基にした児童の気づきや吹き出しを提示することで、主体的に学習問題を見いだすことができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 自然の事物・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、単元末の「りかのたまてばこ」で生活との関連を図ったり、多くのページにある二次元コードを活用して個別の学びをサポートしたりするような工夫が見られる。</p>	<p>5年p173</p> <p>5年p49, p58～60</p> <p>5年p29</p> <p>5年p102, 103</p> <p>5年p145</p>
----------------	--	--

11 学校図書	<p>(1) 単元の目標を達成するために、単元の導入では、「できるようになりたい」で、単元で高めたい資質・能力をしぼって設定し、児童自身が身に付けなければならない力を意識できるように工夫されている。</p> <p>また、単元末では「できるようになった」を設定し、導入場面と対応させ、身に付いた力を振り返ることができるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、観察・実験後に考察の視点が端的に整理して示されており、その視点を基に個人思考を行ったり、他者との対話を行ったりすることを通して結論を導くような構成の工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために、理科の見方・考え方及び育成すべき資質・能力が問題解決の各場面で「理科モンスター」として示されており、当該学年でどのような力を身に付けばよいか確認しながら学習できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 自然の事物・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、単元末の「やってみよう」の発展内容や「考えよう調べよう」での学び方や器具の操作技能に関する巻末資料により、学習内容の理解を深めるような工夫が見られる。</p>	<p>5年p7</p> <p>5年p19</p> <p>5年p15</p> <p>5年p4</p> <p>5年p12, 13</p> <p>5年p158</p> <p>5年p187</p>
---------	---	--

17 教育出版	<p>(1) 単元の目標を達成するために、単元の導入では「学習のつながり」を設け、各学年間の関連する既習単元や発展単元を中学校まで示し、学習の系統を意識できるように工夫されている。また、「〇年のチカラ」を設定し、その学年で主に育成する問題解決の力を児童が意識しながら、学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、観察・実験の結果をもとに考察する場面では、キャラクターを活用して予想や検証方法の妥当性を考える場面が設定してあり思考のモデルを示すなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために、単元ごとに学習者のモデルが設定されており、児童が主人公と自分を重ね合わせながら、学んでいく過程を通して、問題を科学的に解決していく力を自然に身に付けられるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 自然の事物・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、問題に即した明確な結論の提示や、「ふり返ろう」と「確かめよう」の見開きでの表示、重要語句の色網掛けなど、学習内容の定着を図るような工夫が見られる。</p>	<p>5年p22</p> <p>5年p24</p> <p>5年p168</p> <p>5年p5</p> <p>5年p103, 128</p> <p>5年p78, 81</p> <p>5年p58, 59</p>
---------	--	--

61 新興出版社啓林館	<p>(1) 単元の目標を達成するために、すべての単元の導入では「思い出そう」を設定し、日常生活や既習内容を振り返ることができるように工夫されている。また、単元導入で「はじめに考えよう」、単元末に「もう一度考えよう」と同じ写真やイラストの問いを設定することで、理解度の変容を実感できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、単元導入でパフォーマンス課題を設定し、児童自身が課題意識をもって学習に取り組み、単元の学習後に導入と同じ課題を考えさせる場面が設定されており、知識の活用場面などの工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や利便性を高め、分かりやすいものにするために、理科の学習をベースに、技術やものづくり、アート、数学的な発想を組み合わせた題材を配置し、実社会での問題発見、解決に生かすSTEAM教育を紹介し、教科横断的な視点が養われるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 自然の事物・現象に主体的に関わらせ、理科の知識・技能を身に付けさせるために、「実験サポート」、「たしかめよう」の二次元コードで学びをサポートしたり、「くらしとリンク」で理科の意義や有用性を意識させたりするような工夫が見られる。</p>	(5年)p15
		(5年)p15
		(5年)p29
		(5年)p123
		(5年)p134
		(5年)p121
		(5年)p1
		(5年)p6
		(5年)p126
		(5年)p177
		(5年)p86, 87